

わたしのゆめ

瀬戸市立萩山小学校3年

沖山 スエレン リエ

今から、私のスピーチをします。

私は、大人になったらトリマーになりたいです。なぜかと言うと、どうぶつが大好きだからです。今、私の家には、犬が2ひき、インコが1わ、ハムスターが1ひきいます。

私は、どうぶつにかこまれて幸せです。私は、犬のシャンプーをしてあげます。その後、タオルでかわかしてあげます。ドライヤーはこわがってかむので、やりません。

これから、もっとべんきょうして大人になったら、トリマーになりたいです。トリマーになったらどうぶつのシャワーやシャンプーやカットをしてあげたいです。へやのそうじやえさやりもしてあげたいです。そうすると、どうぶつが人になれてシャンプーをする時に楽になるかもしれないからです。大人になったら、トリマーの学校に行きたいです。そのために、べんきょうをがんばります。

二つめのゆめは、パティシエです。私は、ホットケーキをよく作ります。私が作るホットケーキをかぞくが食べて、「おいしいね。」と言ってくれます。そう言われると、私はとてもうれしいです。私はおかしを食べるのがすきだから、大人になったら、パティシエにもなりたいです。

これで私のスピーチを終わります。

## 日本のともだち

下品野小学校・3年

カヨト・ジェンナメイ・オチゲ

みなさん、こんにちは。私の名前は、カヨトジェンナメイオチゲです。私は、3年生です。4月にはぎ山小学校から下品野小学校にきました。

はぎ山には、大親友がいます。リエさんとキーナさんとリュウジさんとヨシさんです。大親友がいたので、私はいつもえがおでした。学校が楽しかったです。

4月に下品野小学校にきたときは、はずかしかったです。あとドキドキしました。さいしょに、クラスのこがはなしかけてくれたときもドキドキしました。ふあんなきもちでした。

私がみんなとなかよくなれたりゆうは、ちづるさんとねいなさんが、みんなの名前をおしえてくれたからです。名前がわかったので、みんなとなかよくあそぶことができました。私はとてもうれしかったです。今は、ねいなさんと親友になりました。

10月に、私のクラスにララさんがてんこうしてきました。ララさんは、フィリピン人です。ララさんがてんこうしてから、私は楽しくなりました。ララさんがいつもわらってくれるからです。私は、ララさんに友達の名前をおしえてあげました。ねいなさんとララさんと、ダンスをするのがおもしろいです。

私は、ねいなさんとララさんが大好きです。これからもねいなさんとララさんとずっと友達でいたいです。

わたしのゆめ

瀬戸市立萩山小学校3年

西 ミカエラ カオリ

みなさん、こんにちは。私の名前は、西 ミカエラ カオリです。萩山小学校の三年一組です。今から私のスピーチを聞いてください。

一つ目は、私の家族について話します。私の家族は四人家族です。一番好きなのは、弟のイアンです。きょねんの4月19日に生まれました。イアンは赤ちゃんなのでよくなります。元気なときは手と足をすごく動かします。自分をたたいているときもあっておもしろいです。イアンは歯がはえてきてお母さんのおむねをかんだりします。とても、くいしんぼです。お母さんは土曜日と日曜日に仕事をします。仕事はおべんとうを作ったりします。おじさんはカッコいい人です。しゅくだいが分からないときはたまに教えてくれます。おじさんが仕事に行く時間は7時30分です。

二つ目は「私のゆめ」について話します。私が大人になったら萩山小学校の先生になりたいです。なぜかという、やさしい先生になりたいからです。みんなに、算数と国語と体育と図工と社会と理科と音楽を教えたいです。お楽しみ会をみんなで何をしたいか、みんなできめたいです。先生になるためにいっぱい勉強をします。

もう一つのゆめは、けいさつかんになることです。けいさつかんになって、悪いどろぼうたちをつかまえたいです。道が分からない人に道を教えたり、まいごになった人とお母さんをさがしたりしてあげたいです。こまっている人を助けたいです。

これで私のスピーチを終わります。

## わたしの友達

原山小学校 4年

セダイ エンジェラ

このあいだ、先生が「エンジェラさんは友達がいいますか」と聞きました。わたしは「いっぱいいます」とこたえました。そうです！！わたしは友達がたくさんいて、毎日たのしく学校で勉強したり、遊んだりしています。私の家族は お父さん、お母さん、弟です。私はずっと おとうさん、おかあさんと はなれてネパールにすんでいました。

去年の4月、日本にきました。日本にきて2日後 原山小学校でクラスのみんなに会いました。みんなの話す日本語は全然わかりませんでした。みんなが私にやさしくしてくれました。今、私には友達がいっぱいいます。

あいちゃんはわたしのほうを時々見て、こまっていると、手を引っ張ってつれて行ってくれたり、教科書の開くページがわからないと、ページを見せてくれたりします。りこちゃんは体育館へいくとき、いっしょに行ってくれたり、りおちゃんは連絡帳を私のかわりに書いてくれました。ジェニフェルちゃんとは朝、いっしょに遊んだり、ほうかのときに学校の中をおさんぽしたりします。

みんなが私に日本語で話しかけてくれましたから、どんどん日本語がわかるようになってきました。お父さんは毎日インド料理のレストランで仕事をしていますから、私は夜、お父さんのお店にすることが多いです。店では宿題をしたり、you tube で英語の番組を見たりしています。でも、お店で一人であるよりも学校で友達と話したりポコペンをして遊んだりしているほうがずっとずっと楽しいです

「私は友達がいっぱいいます」から。

タイトル:ぼくのすきなもの

原山小学校4年

金山 直澄

ぼくのすきなものは、コンピューターゲームです。一番すきなゲームは、ようかいを見つけてたおすゲームです。そのゲームでは、友だちと協力してようかいをたおします。協力すれば、ぼく一人ではたおせないようかいも、たおすことができるので楽しいです。

ところが、きょ年の9月、ゲームをすることができなくなりました。どうしてかというところ、お母さんとの約束をやぶったからです。それでもぼくは、ゲームをしたくてしかたがありませんでした。そこで、お母さんと、漢字のドリルを一日一ページずつすすめることを約束しました。ぼくは、ゲームをしないで漢字の勉強をがんばりました。お母さんは、ぼくががんばるようすを見ていてくれました。すると、十二月、お母さんは、漢字ドリルを一ページすすめたら、一時間ゲームをしていいと言ってくれました。一年間はゲームができないと思っていたので、とてもうれしかったです。この約束をして、漢字の勉強がどんどんすすみました。お母さんがきびしくしてくれたおかげで、苦手だった漢字も、覚えることができるようになりました。お母さんに、ありがとうと言いたいです。

これからも、ゲームと勉強の両方がんばります。これで、ぼくのスピーチをおわります

瀬戸市立萩山小学校 5年

バオアン ユリ メイ タボラ

みなさん、こんにちは。

私はバオアンユリです。萩山小学校の5年生です。私はフィリピンから来ました。

今から発表するのは、私の好きなものです。私の大好きな親せきと家族のことを話します。

みなさんは、どれくらい親せきがいますか。私にはかぞえきれないくらい、います。萩山台だけでは、約21人だけですが、ぎふ県には、かぞえきれないほど、たくさんいます。フィリピンには、もっとたくさんいます。

次に、家族のことを話します。私は4人家族です。お父さんは、私たちのために仕事をがんばっていて、夜おそく帰ってきます。だから、ときどき、お父さんの体調を心配しています。お母さんは、仕事から帰ってきて疲れていても、料理を作ったりお皿を洗ったり服をたたんでくれたりしています。私は、お父さんとお母さんに感謝しています。でも、私は、はずかしがりやなので、直接両親には言えません。この場を借りて、ありがとうと言わせてください。今まで、いろいろめいわくをかけてしまったけど、私をあたたく見守ってくれてありがとうございます。そんなお父さんとお母さんが大好きです。大変なこともあるかもしれませんが、これからも見守っていてください。

私には、妹がいます。保育園の年中です。まだ5才です。妹がいろんなことができるようになるように、いろいろ教えていきたいと思います。

私は家族と親せきのことが大好きです。みなさん私の発表を聞いていただき、ありがとうございます。これで私の発表を終わります。ありがとうございました。

タイトル「二人の親友」

原山小学校4年

ゴンザレス タマラ

「タマラなら、できる。」

まるっとせとっ子音楽会の前、二人の親友がかけてくれた言葉です。その友達は、「かほさん」と「ゆきなさん」です。二人のおかげで、ダンスをがんばることができました。

去年の十一月、原山小学校の三、四年生が音楽会で「スーホの白い馬」をえんじました。私は十一人でチームを組み、ダンスをしました。音楽の時間や休みの時間にたくさん練習しました。練習のあいだ、二人はいつも私のダンスを見ておうえんしてくれました。

ところが、本番の二日前、私は足にけがをしてしまったのです。「本番、上手におどれるかな」と不安になりました。その日の練習で上手におどれなかったので、二人はとても心配したそうです。

でも、

「タマラなら、できる。」

と、二人が言ってくれました。この言葉のおかげで、自信をもつことができました。

ついに、本番の日が来ました。足は少しいたかったけれど、二人のためにがんばりました。そして、何とか練習通り、おどることができました。

本番が終わると、二人は、「できたねー！」と言ってくれました。

二人の友達とは、大人になっても、ずっと親友でいたいです。これで、私のスピーチを終わります。

## 日本の友達

下品野小学校・5年

カヨト・ジェルメイ・オチゲ

みなさんこんにちは。私の名前は、カヨトジェルメイです。5年生です。4月に萩山から下品野へ転校して来ました。

下品野に初めて来た時、人数が多いと思いました。萩山は、全校で150人くらいですが、下品野は400人以上います。5年生は、2クラスあって、私のクラスは37人もいました。

友達がいると、学校が楽しくなります。萩山には、4人の親友がいます。リョウとダリアナとトシロとユリです。4人とは、色々な遊びをしました。遊んでいる時は、とても楽しいと感じました。そんな時間は、私にとってとても大切です。

つぎは、下品野の友達について話します。最初は、友達ができるか不安でした。不安だったけど、すぐに友達できました。何人かの女の子が、話しかけてくれたからです。男の子の友達は少ないけど、女の子の友達は多いです。下品野でも仲の良い友達できました。最初は、放課の時は座っていることが多かったけど、仲の良い子ができて、外とかで遊ぶことが多くなってきたので、学校生活が楽しくなりました。仲が良い子は全員日本人です。日本人の友達できて良かったです。

中学校に行ったら、ちがう学校の子も来るので、仲良くしたいと思います。



「私の夢」 小林 カスミ

光陵中学校 1年

私の夢は、老人介護をする仕事につくことです。

私には、昔、ひいおばあさんがいました。ひいおばあさんは、とても元気な人でした。でもある日、急に元気がなくなりました。家族が病院に連れていき、入院しました。そして、1週間後にがんで亡くなりました。私はその時、4歳でした。

入院中、ひいおばあさんの面倒をよく見てくれる女の人がありました。病院で働いている人でした。その人は、ひいおばあさんに薬を飲ませたり、ご飯の手伝いをしたりしていました。私は、その人のことを、優しくてすごい人だと思いました。

その後、私が小学生の時に観たペルーのドラマの中で、同じような仕事をしている人がいました。そのドラマで、私は「老人介護」という仕事に興味を持ちました。

老人介護の仕事につくためには、高校と大学に行かなくてはけません。私は数学が苦手なので、学校の授業をしっかりと聞いて、もっとがんばって勉強したいです。そして、お年よりに優しくできる気持ちを大切にします。

## ぼくのすきなもの

下品野小学校・5年  
キタリグ・ジェームス

みなさん、こんにちは。ぼくの名前は、キタリグジェームスです。下品野小学校の5年生です。ぼくは、すきなものが三つあります。それは、デュエマカードとゲームとサッカーです。

デュエマというのは、何人でもあそべるカードゲームです。まずは、カードをならべます。つぎに、山札からカードを一枚ずつひきます。バトルゾーンでカード同士が戦うのです。カードは絵と能力とパワーの数字などが書いてあります。強いカードは勝ちやすいです。でも、カードの出し方を考えなければなりません。デュエマカードのすきなところは、作戦を考えて勝つところです。あと、戦うのもすきです。

つぎにすきなものは、ゲームです。とくにすきなゲームはモンスターストライクです。どこがすきかという、「ガチャ」というくじで、モンスターがもらえるところです。ぼくは、強いモンスターがでると、ジャンプするほどうれしいです。

つぎにすきなものは、サッカーです。どこがすきかという、シュートをするところがすきです。一点がはいるからです。ぼくは、一点がはいると、「よっしゃ」とさけびます。サッカーをやっているとき、ぼくは、みんながいるから楽しいです。

すきなことがなくなったら、かなしいと思います。すきなことがあると、毎日学校が終わったあとも楽しいです。

これでぼくの発表を終わります。

「私の好きなこと」 小林 愛子

光陵中学校 1年

私は、好きなことが3つあります。

1つ目は、今、私が住んでいる、日本です。

私は小さい頃から、日本とペルーを行ったり来たりしていました。日本はとても安全で、自然がきれいな国だと思います。私は春が好きです。日本の春は、たくさんの花が咲いて、とてもきれいです。それは私の「日本のイメージ」にぴったりです。

2つ目は、私が生まれた国、ペルーです。

ペルーには、親せきや友だちがたくさんいます。日本語を知っていることで、ペルー人の友だちが増えました。仲良しのいとこと会って、話すことができることも、ペルーが好きな理由の1つです。

3つ目は、家族です。

うちは、お父さん・お母さん・お姉ちゃん・私の4人家族です。お母さんとは、勉強のことでけんかになります。でも、私が悲しい時は、いつもそばにいてくれる、大切な存在です。

私は、音楽を聴くことや部活も好きです。好きなことを大切にしたいです。あまり好きじゃないことにもチャレンジしたいです。

## 私の日本のともだち

下品野小学校・5年

ソフラ・ユミ

みなさんこんにちは、私はソフラユミです。下品野小学校の5年生です。

最初に友達になったのは、1年生のとき、となりのクラスの女の子でした。担任の先生と日本語の先生が日本語を教えてくれて、友達ができるようになりました。友達ができうれしかったです。

ほうかに、いろんなことで遊びます。たとえば、おにごっこやなわとびやカンけりをします。先生におこられたり、苦手な算数があったり、ときどき泣いたりするけど、友達と遊ぶと、いやな気持ちがどんどん減っていく感じがします。だから、私はうれしいです。

私には、親友がいました。その女の子の名前は、りあんといいます。かの女は、3年生の2学期に転校してしまいました。そのときは泣くほど悲しかったです。かの女と私は、森でひみつきちを作ったけど、イノシシにこわされてしまいました。二人で一緒がっかりしました。それでも、思い出になりました。かの女は今でも、私にとってだいじな友達です。

今の5年生でも、友達があります。いつも笑顔で、算数を教えてくれるやさしい友達。元気で、おもしろい話で私を笑わせてくれる友達。私の大好きなこわい話をしてくれる友達。

みなさんは、友達がありますか。友達がいると幸せですね。これで私の発表をおわります。

## ぼくの夢

下品野小学校・5年  
ファウスティノ・ドリ

みなさんこんにちは。ぼくの名前はファウスティノ・ドリです。ぼくは、下品野小学校の5年A組です。ぼくは、3才のとき日本に来ました。そして、日本とフィリピンを行ったり来たりしました。

ぼくの夢は、サッカー選手です。ポジションはフォワードです。なぜなら、めざす選手がフォワードだからです。その選手は、バルセロナの10番のメッシです。メッシは、今世界一強い選手だと思います。

サッカーをすきになった理由は、ぼくがまだ小さいときに、たまたまボールをけたことがきっかけです。ボールをけるのがすきになりました。成長していくうちに、サッカーというスポーツを知ってから、サッカーをやるようになりました。

夢のために、サッカーをがんばりたいです。品野中学校にはサッカー部がないから、テニス部に入って、体力をつけていきたいです。そして、サッカーの強い高校に入りたいです。そのためには、勉強もちゃんとしなければいけません。ぼくは、とくに算数をがんばりたいです。なぜなら、そろばんを習っているからです。

これで終わります。ぜひみなさんもサッカーにきょうみを持ってください。

# 夢はパティシエ

瀬戸市立八幡小学校・5年

高橋 アケミ

おいしいものを食べると、みんなは自然と笑顔になります。おいしいものには、人を幸せにする魔法があります。

私のお母さんは、お料理が大好きです。いつも作ってくれる食事がおいしくて、たくさんお代わりをします。でも、もっとおいしいのがスイーツです。私は小学校へ入学してからも、お母さんの作ってくれたおやつが食べられると思うと、家へ帰るのが楽しみでたまりませんでした。ふだんは手間の掛からないお菓子ですが、家族の誕生日にはそれぞれが大好きなスイーツを作ってもらえます。お母さんの定番!!ブラウニーケーキはお父さんに。私のは、ポデミール（ハチミツパン）です。上の妹は、ピンポン玉ぐらいに丸めてくしを刺したチョコレートケーキ。下の妹は、虹色ケーキ。お母さんは、レモンパイ。その中でも、ハチミツパンは最高です。ガブリとかむとパリッとした歯ごたえがして、数秒たつと、中からハチミツとチョコレートのクリームが合わさって口の中にとろけ出し、とても幸せな瞬間がやってくるからです。

こんなふうに、私や私の家族だけでなく、いろいろな人を喜ばせることのできるスイーツを作るパティシエの仕事は、とってもステキでかっこいい!!と思います。ただ、私が今までやったことがあるのは、残念だけどプリンやケーキの仕上げだけで、一人では何も作れません。でも、がんばって勉強し、きっとパティシエになって、みんなが笑顔になる魔法をかけたいです。

## しょうらいの夢

下品野小学校・6年  
オチゲ・ジェイコブ・アルチェ

みなさん、こんにちは。ぼくの名前はオチゲジェイコブアルチェです。下品野小学校の6年生です。下品野には、昨年転校してきました。今日は、ぼくのしょうらいの夢について話していこうと思います。

ぼくのしょうらいの夢は、大工さんになることです。まだ大工のイメージはあまり出来ていません。それでも、なりたい理由があります。その理由は、しょうらいの夢についてなやんでいる時、前の学校の親友に、「一緒に大工になろうよ」と言われたからです。もともと、興味を持っていたので、親友と一緒に大工になれば仕事も楽しめるし、なやみが出来たりしたら相談しやすいと思って、「一緒に大工を目指そう」と約束しました。

でも、問題は、どうやって大工になるかです。さっきも言った通り、大工のイメージが全然ないので、どうなるかもわかりません。

なので、学校では本やインターネットで大工のことを調べながら、勉強も部活もがんばって、テストでもいい点をとれるように、地道に、その時やるべきことをこなしていきたいです。

それと、建築士の資格もとって、住む人が安心して住める家を考えて作ってあげたいです。

親友と決めた夢なので、叶うように出来る限りの努力はしたいと思っています。

「私の夢」

小林 ヤスミ

光陵中学校 1年

私の夢は、動物病院の先生になることです。

私の家には、1歳になる犬がいます。種類はパグで、名前はドキです。

今までに、ドキを動物病院へ連れて行ったことが2回あります。初めはカゼ、2回目はねんごでした。

どちらの時も、私はとても心配でした。でも、動物病院の先生は、犬に合った方法をよく知っていて、ドキのことをていねいにみてくれました。私は先生の言うとおりにドキの世話をしたり、薬を飲ませたりしました。今、ドキはとても元気です。私は先生にとっても感謝しています。

動物は言葉が話せません。私も、日本語がわからないことがあります。でも、助けてくれる人は絶対います。だから、私は、動物のことを勉強して、気持ちを分かってあげたいと思います。そして、助けてあげたいと思います。

動物病院の先生になるためには、苦手な勉強もしなくてははいけません。でも、夢を叶えるために頑張りたいと思います。



## 日本のともだち

下品野小学校・6年  
エンカナシオン・エミコ

私は、エミコです。日本の学校に来たときは、3年生でした。初めは、友達がいませんでした。ほかの子が私に話しかけると、何もわからなかったのも、何も言えませんでした。じゅぎょう中、先生が話しているときも先生の言っていることがわかりませんでした。

日本語をどうやって覚えたかという、ほかのこの日本語を聞いて、わからない日本語を、日本語の先生につうやくしてもらったりして覚えていきました。算数のとき、友達にかけ算やわり算を教えてもらいました。そのとき、とってもうれしかったです。4年生になったときには、友達といっぱい話したり、遊んだりできました。

6年生になって、ビックリするくらい友達が増えました。男の子の友達もできました。友達がなぜこんなに増えたかという、私が日本語を話すようになったからです。自分の好きなことや、嫌いなことをつたえることができるようになりました。

私にとって、友達は必要だと思います。友達がいないと、学校はつまらないし、授業のときもやる気がでません。私が苦しいときも楽しいときもそばにいてくれます。仲間みんなで協力することもできます。

中学校に行って、友達がまた増えるといいと思います。Bye,Bye!

# 大好きな家族

瀬戸市立八幡小学校・5年

中島 アユミ

「あなたの一番好きなものは何？」

と、聞かれたら、私は迷わず「私の家族」と答えるでしょう。

私の名前は、中島 ジャスミン アユミ。私は守山の病院で生まれ、瀬戸で5歳まで育ちました。

でも、母の仕事がたいへんなので、ペルーに居るおばさんが、私を預かって育ててくれることになりました。おばさんの家族は、私のことをまるで本当の子どものように大切に育ててくれました。ある時、学校から帰ってきたら急に気分が悪くなり、ベット一面大量にもどしてしまいました。おばさんの子どもが私のたいへんな様子に気付いて、救急車を呼んでくれました。なかなか良くならなくて一ヶ月位入院しましたが、その間もお見舞いに来てお風呂に入れてくれたり、いろいろお世話をしてくれました。おばさんたちの愛情あふれるお世話は、とってもありがたく今も心の中に残っています。

そして2年生の冬、私は日本の母の所にもどりました。その時、初めて自分に二人の兄たちがいることを知らされびっくりしました。でも、私はずっと一人っ子でさみしかったので、とってもうれしかったです。年の離れた真ん中の兄には三人の子どもがいて、週末に私と母で家まで迎えに行き、連れて来て面倒を見てあげています。赤ちゃんが笑ってくれれば、私も幸せな気持ちになります。

私が小さい時はおばさんたちに助けられ、そして今は兄弟のお手伝いをしてあげています。私は、こんな家族の愛情に包まれて暮らすことができ、とっても幸せに思っています。